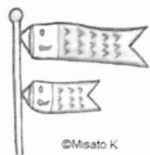


資料3 湘南ひらつかキャンパス教職課程通信「Dreams」VOL.1



湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

# Dreams Vol.1

2011年5月28日発行



☆☆あいさつ☆☆

教師を目指している学生の皆さん、教職に携わる先生方、初めましての方も、そうでない方もこんにちは。今年度から始まりました教職課程通信「Dreams」の編集をしている刈部真里(かりべ みさと)です。

「Dreams」は、昨年度の「学校ボランティア通信 E.S.V.」をさらに発展させたものです。教職課程に関する情報交換、意見交換の場として、今後、学生にとって有意義になる通信にしていきたいです。

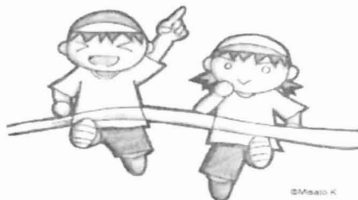
発行のペースは月1回、月末に発行する予定です。

Vol.1では、「Dreams」を知ってもらうために、来月号から始まる企画について紹介します。

## Enjoy School Volunteer

「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、昨年度の「学校ボランティア通信 E.S.V.」を引き継いで、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。時には、学校ボランティア募集の紹介なども予定しています。

今年度も、沢山の学生がボランティアに参加していて、平塚市立土屋小学校に23名、平塚市立みずほ小学校に2名の学生が5月9日からボランティアを開始しています。参加している学生の皆さん、頑張って下さい。



## Dreams 談話室

「Dreams 談話室」では、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所を提供していく予定です。「教育実習や教員採用試験について知りたい!」や「先輩、後輩、先生に伝えたい事がある」など、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に毎月、企画を立てて、学生の声を紹介していきます。

今回は「Dreams 談話室」コーナーの紹介のみですが、来月から企画を初めていきます。来月のテーマを紹介します。

Vol.2のテーマ：教育実習に行つて

5月～6月にかけて、4年生を中心とした学生が3週間の教育実習に行きます。Vol.2では、彼らが、教育実習で体験した事、感じた事を紹介していきます。

©Misato K



6月の予定

■24日 教員採用試験2次対策講座再開  
教育実習報告会(6-306・6-307) 11:00～12:30

■25日 教員採用試験受験サポート：教育法規(6-201) 13:30～16:40

■学校ボランティア

1日～30日(平日のみ)：通常ボランティア

4日：運動会ボランティア(土屋小学校のみ)

■教育実習期間中(4年生・科目履・大学院生)

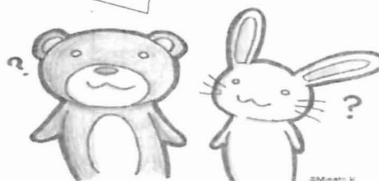
## ちょっとブレイク

★採用試験問題にチャレンジしてみよう!★

【問題】ピアジェの発達段階として、最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。(2009年度 神奈川県・川崎市/横浜市)

- ① 口唇期→肛門期→男根期→潜伏期→生殖器期
- ② 罰と服従→道具主義的・相対主義→対人の同調→法と秩序→社会的契約→倫理的原理
- ③ 信頼対不信→自立的対恥→疑感→積極性対罪悪感→勤勉性対劣等感→同一性対同一性拡散→親密性対孤独→生殖性対停滞→自己統一対絶望
- ④ 感覚運動期→前操作期→具体的操作期→形式的操作期

答えは「Dreams Vol.2」で!



## 編集後記

Vol.1、如何でしたか?

今後「Dreams」について、少しでもわかってもらえたかと思います。

今後は毎月色々な企画を考えて、少しでも皆さんの役に立つものにしていこうと思うので、よろしくお願いします。また、企画に応じて、皆さんからの意見を募集する事もあります。その時はご協力をお願いします。

それでは、ここまで読んで頂きありがとうございました。

編集・カット担当 刈部真里(理・情報科学科4年)

Special Thanks! (お世話になった方々)

「E.S.V.」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子

連絡先

神奈川大学

湘南ひらつかキャンパス 資格教育課程支援室

電話：0463-59-4111

FAX：0463-59-5736

E-mail：kyoushoku-shc@kanagawa-u.ac.jp

## 資料3 湘南ひらつかキャンパス教職課程通信「Dreams」VOL.2



湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

## Dreams Vol.2

2011年6月30日発行



## ☆☆あいさつ☆☆

こんにちは。梅雨に入り、ジメジメとした日が続いています。蒸し暑くて、過ごしづらいですね。梅雨が明けると、前期の定期試験が待っています。1年次生は初めての定期試験ですね。皆さん、頑張りましょう。

Vol.2は6月の発行ということで、「Dreams 談話室」で教育実習に行った4年次生の感想を掲載しています。今後教育実習に行く学生の皆さんにとって役立つものになるとと思います。



## Enjoy School Volunteer

「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。時には、学校ボランティア募集の紹介なども予定しています。

## ○活動報告○

5月9日から始めた学校ボランティア平塚市立みずほ小学校、平塚市立土屋小学校の2校で、授業のお手伝いなどをする、休み時間に子ども達と遊ぶ、掃除のお手伝い、給食と一緒に食べる、といった活動を中心に行いました。他に、校務さんのお手伝いとして植木の剪定やプール清掃なども行いました。

また、6月4日に土屋小学校で運動会が行われ、9名の学生がボランティアに参加しました。当日は良い天気にも恵まれ、子ども達は精一杯頑張りました。参加した学生の皆さん、お疲れ様でした。

## ○ボランティア体験の感想○

「学校ボランティア演習Ⅰ」と「初等教育演習Ⅰ」の履修者は、授業の一環として、ボランティア活動の報告書を提出しています。もうすぐ、ボランティアを開始して3カ月が経ちますが、その間の活動で、履修者がどんな事を感じたのか、一部ではありますが紹介します。

## ① 気が付いたこと・学んだこと

- ・間違ったことをした場合、何故ダメなのかを教えるのではなく、子どもに考えさせていた。主体性を尊重していた（川合智也）
- ・小学生はすごく落ち着きがないけど、色んなことに敏感に反応し、細かい所までしっかり見ていていました。なので、ちょっとした言葉や行動を注意しないといけないと思いました（馬場智香）

## ② 楽しかったこと・嬉しかったこと

- ・帰りの会が終わったあとに、子どもから「また来てね」と言われたこと（戸田浩彰）

- ・呼び名を決めてくれた（松下友美）

## ③ 困ったこと・悩んだこと・力をつけたいと思ったこと

- ・給食を食べている時、おしゃべりに夢中で食べるのが遅い子どもに、「時間ないから食べよう」と言っても言うことを聞いてくれない。担任の先生なら言うことを聞くので、もっと勉強しなければいけないと感じた（鈴木寛太）

## ☆☆☆☆☆☆

2か月程の活動でも、たくさんの事を感じ取っていますね。同じことを感じた学生も、いるのではないのでしょうか？学校ボランティアで初めて『教員』という立場で学校に行き、貴重な体験が出来たと思います。

前期のボランティア活動も残り1カ月を切りましたが、最後まで頑張りましょう！



© Misato K.

## Dreams 談話室

「Dreams 談話室」では、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所を提供していく予定です。「教育実習や教員採用試験について知りたい!」や「先輩、後輩、先生に伝えたい事がある」など、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に毎月、企画を立てて、学生の声を紹介していきます。

## テーマ：教育実習に行つて

5月～6月にかけて、4年次生を中心とした学生が3週間の教育実習に行きました。Vol.2では、彼らが、教育実習で体験した事、感じた事を紹介します。

## 教育実習の感想

野沢侑樹(中学・数学)

教育実習を通して、一番の感想は、充実した生活を送れてとても楽しかったということです。最初はとても緊張して、3週間も本当にやっていると不安でしたが、実習の中でその不安もすぐなくなり、3週間はあっという間に過ぎてしまいました。

次に、実習は出来るだけ早く慣れた方がいいということです。実習では、環境や、子ども達に慣れるにつれて、いろいろと考えられたり、得るものが増えていきました。そのことを経験して、出来るだけ早く慣れなければいけないと感じました。

更に、現場の先生は、私が思っていた以上に生徒のことを考えていると感じました。授業の中や、生活の中でも、自分の言動が生徒に与える影響を日々考えて行動していると思ったからです。

最後に私のことですが、色々なことに挑戦しなければならぬと感じました。それは、校長先生の話の中に「沢山の経験をすれば、指導の幅が広がる」という話があり、このことから、残りの学校生活では、まだやっていないことに色々挑戦しようと考えました。

# 教育実習の感想

大川哲史(高校・情報)

私は高校の情報を担当しました。実習が始まる前からとても緊張していて、これから自分ははどうなってしまうのだろうと、とても心配になりました。

初めての授業では、自己紹介で生徒達を引きつけることは出来ましたが、肝心の授業がうまくいきませんでした。自分でも何を話しているかわからないし、生徒達も反応してくれないという寒い空気にしてしまいました。実習校の情報の授業は2時間続きで、授業の雰囲気を保つのは難しく、その後の授業でも苦い思いをすることがありました。ですが、あるクラスで、授業終了後に「先生次は頑張ってください」という応援をしてくれて、元気をもらったと同時に、次はもっと良い授業にしたいというやる気が出て来ました。

全体的に私に欠けているものは、声と元気でした。活気がなければ生徒達は話を聞いてくれません。また、大事なのは教師が生徒達に対して、教える内容を伝えたいという気持ちだと思います。

朝と帰りのHRも担当しましたが、そのクラスは授業を担当しなかったもので、あまり触れあえず、うまく話をすることが出来なかったため、中々馴染めませんでした。球技大会や日常で、少しずつ生徒と話をすることで徐々にクラスに慣れてきました。実習最終日には色紙をもらいました。実習生としてクラスに対し、あまり触れ合いや関わりがなかったという思いを持っていましたが、生徒達は私をクラスの一員として見てくれていたということがわかり、とても嬉しかったです。期間は3週間でしたが、私にとってはあっという間でした。

この実習を通じて沢山の事を学びました。教師うんぬんではなく、社会人としての常識を学ぶ機会も多々ありました。沢山の失敗がありましたが、その失敗が私にとっての更なる成長の機会になったと思います。

★ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

どうでしたか? 楽しかったこと、失敗してしまって辛かったこと、勉強になったこと、沢山の経験をしてきたことが感じ取れたかと思えます。今後、教育実習に行く予定の学生は、この感想を読んで、参考にしてください。

さて、ここでVol.3のテーマを発表します。

~~~~~

いよいよ7月から、各都道府県で教員採用試験が始まります。Vol.3では教員採用試験の1次試験を終えた学生から話を聞き、今後、採用試験を受ける学生にとって役に立つ情報を集めたいと思います。



© Misato K

~~~~~

- 補講日 (21日～25日)
- 定期試験 (26日～8月3日)
- 学校ボランティア (1日～15日)
- 教員採用試験 (1次) (2日～)
- 教員採用・2次試験対策講座 (柳堤先生担当)

「夏季講座ガイドス」(15日3・4限)

~~~~~

## ★教員採用試験(一般教養)問題にチャレンジ!★

言葉の使い方について適切なものを選んで。

- (1) 教頭先生に、「おいしいですよ。教頭先生もどうぞいただいでください。」とすすめた。
- (2) 面接で、「私はとても親切で優柔不断です。」と自己紹介をした。
- (3) 家庭訪問する時間について、「明日、午後4時に参ります。」と保護者に連絡した。
- (4) 友達から「おいしいアイスクリームが食べれるから店に行こう。」と自己紹介をした。
- (5) 職員会議で、「具体的な数字をおししを願いたい。」と発言した。

解答は「Dreams」Vol.3で!

Vol.1の解答→4

「教育心理学」の講義で勉強したピアジェからの出題でした。

正解出来ましたか?



© Misato K

~~~~~

Vol.2、如何でしたか?

教育実習へ行った学生の皆さん、お疲れ様でした。教育実習の中で得たものは、沢山あったと思います。また、教育実習に行った感想を提供して下さいました。ありがとうございます。これから教育実習へ行く予定の後輩にとって、とても良い参考となりました。

来月は、前期のボランティアがいよいよ終わります。学生がボランティアでどんなことを学んだのか、学生自身の声で伝えてもらう予定です。また、Dreams 談話室では7月上旬から始まる教員採用試験について受験した人の声を集めて、掲載する予定です。お楽しみに!

それでは、ここまで読んで頂きありがとうございました。

編集・カット担当 刈部真里(理・情報科学科4年)

~~~~~

「学校ボランティア演習!」,「初等教育演習!」履修者…活動報告書の提供

野沢侑樹君・大川哲史君…「Dreams 談話室」掲載原稿の提供

「Dreams」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子

~~~~~

連絡先

神奈川大学

湘南ひらつかキャンパス 資格教育課程支援室

電話: 0463-59-4111

FAX: 0463-59-5736

E-mail: kyoushoku-shc@kanagawa-u.ac.jp

## 資料3 湘南ひらつかキャンパス教職課程通信「Dreams」VOL.3



湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

## Dreams Vol.3

2011年7月29日発行



## ☆☆ごあいさつ☆☆

こんにちは。毎日暑い日が続いていますね。皆さんは、暑さに負けて夏バテしていませんか？夏休みに入ると、授業期間中に比べて余裕が増えます。その時間を利用して、暑さに負けない体力づくりをしてみるのも、良いかもしれませんね。

Vol.3の「E.S.V.」は、前期の日程が終了した学校ボランティアの活動報告と、学生達の感想を、「Dreams 談話室」は、ついに始まった教員採用試験をテーマに取り上げます。



## Enjoy School Volunteer

「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。

## ○活動報告○

5月からの学校ボランティア（前期）に参加した学生は活動を終了しました。活動内容は、前回と同じく、授業のお手伝いや、子ども達と一緒に給食を食べる、掃除時間のお手伝いをする、休み時間に遊ぶなどの活動を中心に、校務さんのお手伝いなどの活動も行いました。夏の季節は体育の授業でフールが行われるので、フール清掃のお手伝いを行った学生もいました。

## ○ボランティア体験の感想○

「学校ボランティア演習Ⅰ」と「初等教育演習Ⅰ」の履修者は、授業の最後に、ボランティア活動のレポートを提出しています。今までの活動で、履修者がどんなことを感じたのか、抜粋して紹介します。

## 与えるのではなく、引き出すという授業

阪本崇

特に参考になったのは1年生の生活科の授業だ。その授業は子ども達が植物の種を植えたのを観察し、その報告をするという授業だった。先生が「昨日と違って何か変わった点がありましたか？」と聞き、子ども達に発表をさせる。そしてある子どもが「葉っぱが2つ出てきました」と答えた。先生は「そうですか。ありがとうございます。座って下さい」と答え、授業を受けている子ども達に「この次はどうなと思いますか？」と質問した。

この授業を見ていて、私はただ知識を教えるのが教育ではない、知識を通して色々な力を手に入れるのが教育なのだ、と思い知らされた。この授業で得られている能力はたくさん見られる。まずは子どもに質問し手を上げさせることで積極性が得られ、それを発言という形で発表させるため、文章作成能力と話す能力を得ることができる。聞いている子たちにも力がつく。人の話を理解し、聞く力だ。これ以外にも、先生がどうなるかという質問で想像力を養うことができるなど、6つの力が身につく。知識をただ教えているだけでは、おそらくこの6つの能力は身につかないだろう。このように、少し工夫することでこんなにもたくさん能力が身につくのだなというのを改めて知り、教育がいかに難しいと考えさせられた。

## 明朗快活な子ども達

川合智也

ボランティア初日は不安で、夜、眠ることが出来なかった。子ども達ときちんとコミュニケーションが出来るであろうか。無視されたり、いじわるをされたりしないだろうか。根が人見知りであった私は、そのような心配で頭が埋め尽くされていた。不安と緊張で胸が張り裂けそうになりながらも、「開放中」と書かれた通用門を開き、土屋小学校へと足を踏み入れたのだった。

土屋小学校は、大変アットホームな雰囲気の小学校だった。1学年1クラス、全校児童約100名というこの学校は、私が卒業した全校児童数、約1000名の小学校では考えられない程の小規模な学校である。そのため、子ども達は自身のクラスだけに留まらず、他学年の子達とも、お昼休みに遊ぶなどして仲良くしており、学年の垣根を越えて児童間の交流を深めているという印象を受けた。子ども達は、ボランティア初日から私に興味を抱いてくれて、こちら側から話しかけるといった働きかけをすることもなく、絶えず話が弾んだ。私が初めに抱いた不安は、取るに足りないものだとして思い知らされた。お昼休みは、子ども達にサッカーをしよう、バタを捕まえに行こう、ポケモンのしりとりをしようと言われて、私自身が大変充実した時間を過ごすことが出来た。

さらに、ボランティアの回数を重ねるうちに、当日の担当ではないクラスの子ども達にも話しかけてもらえるようになった。大先生のお兄さんとして、子ども達の友達として、そして、1人の人間として、自分が認知されたようで、顔を覚えてもらったことをとても嬉しく感じた。それと同時に、自分の心が温かくなっていくような気がした。また、子ども達だけでなく、職員の方々も仲が良いという印象を受けた。給食の時間には、職員一同で1つのテーブルを囲み、歓談されていた。理科の先生の方に「子ども達との触れあい方がうまい」と褒められて、自分への自信につながった。

☆☆☆☆☆☆

およそ2カ月程の期間でしたが、参加した学生の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございます。短い期間の中でも、学べたことがたくさんあるようです。今後も、このボランティア活動で学んだことを活かせるよう、頑張ってください。

また、後期にも行われる予定です。後期から、土沢中学校も加わります。このボランティア活動は、授業の履修などは関係なく、参加したいという意思があれば参加出来ますので、参加したい学生は、後期に行われるガイダンスに参加してみてください。ガイダンスの日程については、教職課程掲示板または、2ページの8月・9月の予定を見て下さい。



## Dreams 談話室

「Dreams 談話室」では、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所を提供していく予定です。「教育実習や教員採用試験について知りたい！」や「先輩、先生に伝えたいことがある」な

ど、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に毎月、企画を立てて、学生の声を紹介していきます。

テーマ：教員採用試験（1次）

7月に入り、関東を中心に教員採用試験が始まりました。今年も4年次生を中心に受験しています。今回は、教員採用試験の1次試験を終えた学生から、話を聞いてみました。

私は千葉県教員採用試験を受験しました。試験の準備には過去問や、『よくわかるシリーズ』を使い、解いた過去問は簡単に感じました。

採用試験は指定された高校の教室で行います。教室には冷房器具がないので開襟シャツで行きましたが、それでも暑かったです。教職教養は教育基本法なども出ましたが、それ以上に一般常識で解ける問題が多くありました。専門教養は、学習指導要領から始まり、授業の進め方についての問で終わりました。解いているときは過去問より難しく感じました。緊張していたからだと思いますが、自分の準備不足を痛感する試験でした。

木原大介（千葉県・中学数学）

楽しかった。試験前は仲間と勉強会を開いて模擬授業や過去問演習などを行った。

試験日は交通機関が混むと聞き、集合時間の80分前に到着したら、横浜国大に4着だった。外が暑かったのでチョコレートが溶けた。様々な理由で予定時間を超えることもあるので、耐性能力に自信がない人は何か用意したほうが良いと思った。

試験後はインターネット上で解答を検討し、解答速報を作成した。  
<http://wiki.enoz.jp/educ/>

栗田和弥（神奈川県・高校情報）

1次試験を受けての感想は、どれだけ過去問を解いたことがあるのかが合否の分かれ目だと思いました。実際、今回の一般教養の問題の中に、神奈川県の過去問とほぼ同じ問題がありました。

逆に、美術や音楽は勉強しなくても良いかな、と思いました。範囲が広い割にはそれぞれ一問と、割に合わないもので、出題数の多い社会や教職教養、専門教養を勉強した方が得点になると思いました。

山崎佑亮（神奈川県・中学社会）

1次試験を行ってみて感じたことは、教職教養は、教職論でやったことを中心にやっていけば簡単に出来ます。

一般教養は多種多様に出て来ていたので、対策は難しかった。しかし、社会の問題数が多いのが特徴なので、その部分に対して注意する必要があります。

専門教養は、傾向が変わらなく、今年も例年通りだったので、対策しやすそうである。しかし、全てを求めるのは難しいので、ある8問程度の問題を中心に求めていくような形をしていくべきである。

福永翔也（神奈川県・中学数学）

☆☆☆☆☆☆

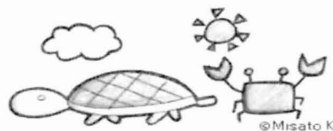
どうでしたか？神奈川大学の中でも受験者が多い神奈川県を中心に感想を集めてみました。何か参考になるものはありましたか？

さて、ここでVol.4のテーマを発表します。

Vol.4のテーマ：教員採用試験（2次）

7月の1次試験に合格した学生は、8月に2次試験が待っています。

Vol.4では、今回のテーマから継続して、教員採用試験の2次試験を終えた学生から話を聞き、今後、採用試験を受ける学生にとって役に立つ情報を集めたいと思います。



©Misato K

8月・9月の予定

■夏休み（8月4日～9月20日）

■教員採用試験2次試験対策講座（8月1日～）

■教員採用試験（2次）（8月上旬～）

■小学校ボランティア説明会（9月22日）6-201 12:40～

■中学校ボランティア説明会（9月21日）6-201 12:40～

ちょっとブレイク

★2次試験の面接を受けたつもりで考えよう！★

【教師を目指したきっかけを、教えて下さい。】

Vol.2の解答…（3）

「参る」は行く・来る、両方の謙譲語となっていますので、正しいと言えます。参る以外の謙譲語として、「伺う」や「上がる」もあります。

©Misato K



編集後記

Vol.3、如何でしたか？

今回、掲載するレポートを選ぶにあたり、皆さんの感想を読ませて頂きましたが、どの学生もとても良いことが書いてあって、読んでいるこちらにも参考になることが沢山ありました。

また、教員採用試験の1次試験を受験した学生の皆さん、お疲れ様でした。今まで勉強して来たことは、どんな形であれ、必ず無駄にならないと私は信じています。

夏休みになるので、8月の発行はありません。夏休み明けの9月に、Vol.4を発行すると思いますので、興味のある方は読んで下さると幸いです。

それでは、ここまで読んで頂きありがとうございました。

編集・カット担当 刈部真里（理・情報科学科4年）

Special Thanks！（お世話になった方々）

「学校ボランティア演習！」「初等教育演習！」履修者…活動報告書の提供

木原大介君 栗田和弥君 山崎佑亮君 福永翔也君…「Dreams 談話室」掲載原稿の提供

「Dreams」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子



## 資料3 湘南ひらつかキャンパス教職課程通信「Dreams」VOL. 4



©Misato K

湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

## Dreams Vol.4

2011年10月20日発行



©Misato K

## ☆☆あいさつ☆☆

こんにちは。お久しぶりとなります。

後期が始まって1カ月がたちました。また、先日は平塚祭も行われ、サークルで出店をしたり、イベントに参加したりと、皆さん楽しんだと思います。いい思い出は作れましたか？

Vol.4では、後期のボランティア活動の予定についても交えつつ、新コーナーや談話室で、学生の参考になるような企画を立てましたので、紹介していきます。

## Enjoy School Volunteer

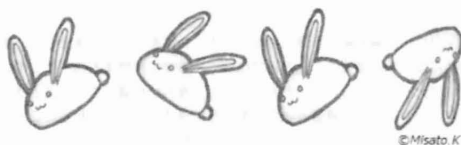
「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。

Vol.4では、今年度後期になって最初の発行になりますので、後期のボランティア活動予定についてお知らせします。

前期と同様、平塚市立土屋小学校、みずほ小学校については、ボランティアが継続されています。活動内容としては、学級での学習活動の補助や、先生方の作業の補助などです。また、昼食は学級で子ども達と給食を食べたり、昼休みなどは、子ども達と一緒に遊んだりします。

そして、後期から、平塚市立土屋中学校のボランティアも増えました。主に、英語、理科の授業の補助と、学校ホームページの作成と維持の補助をします。

後期ボランティアに参加される人数は、土屋小学校7名、みずほ小学校1名、土屋中学校6名です。参加される学生の皆さん、頑張りましょう。



©Misato K

## おたよりボックス

新コーナー「おたよりボックス」です。

このコーナーでは、神大を卒業して教師をしている先輩達だからこそ聞ける話を紹介したり、皆さんが教員となる上で知って欲しいと思ったことなど、頼りになる便りを紹介していきます。

記念すべき第1回は、現在、札幌の中学校教員をしていらっしゃる、小野忍先輩に、「学級通信をつくるには」というテーマでメッセージを頂きました。

☆☆☆☆☆☆

初めまして、1997年3月に卒業し、現在は札幌の中学校で勤務している小野と申します。

今回は機会がありまして、「学級通信」について書かせてもらいたいと思います。

僕は、学級通信は「担任の自己表現の場」だと捉えています。

子供たちや保護者たち、場合によっては同僚たちに対し、自分の「信念」を伝えていくことが学級通信の役割だと考えています。なので、子供を褒めたり諭したりするだけでなく、自分の尊敬する人を紹介したり、何を考えて行事などに臨むのかを書いていったりもします。

また、子供たちの成果の中でみんなに紹介したいものは、積極的に掲載していきます。（子供たちも、「これは学級通信に載せるからな」と言ってお文章を書かせると、いつもより一生懸命になります。）

子供たちが、「今日は学級通信は出ないの？」と言い始めたら「勝ち」。後は自分が伝えたいことをとどんどん書き連ねていけばいいのではないのでしょうか。

その学級通信ですが、僕が先輩からずっと言われてきたことがあります。それは、「数は多くても少なくてもいいが、必ず1年通して発行しろ」ということです。教師が挫折するところを見せたら、子供もそれでいいものだと思ってしまう。なので、1年続ける自信がないなら最初から発行しないのも一つの選択肢だと思っています。

ちなみに、昨年度の自分が所属した学年（5クラス）で、学級通信を発行していたのは2クラスだけでした。今年度転動してきて所属している学年（6クラス）は、全クラス発行しているようです。

8月に神大平塚にお伺いしたとき、昨年度僕が発行した学級通信「Green Signal」全92号のデータを寄贈してきました。

どうやら印刷・製本していただいているようなので、今後の参考にしていたいただくと幸いです。

☆☆☆☆☆☆

小野先輩、ありがとうございました！

小野先輩のメッセージにもあったように、8月に、小野先輩が発行した学級通信「Green Signal」1～92号のデータを頂きました。印刷・製本したものを資格教育課程支援室に資料として置かせて頂いていますので、ぜひ手に取ってみてください。右のイラストが目印です。



## Dreams 談話室

「Dreams 談話室」では、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所を提供していく予定です。「教育実習や教員採用試験について知りたい!」や「先輩、後輩、先生に伝えたい事がある」など、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に毎月、企画を立てて、学生の声を紹介していきます。

テーマ：教員採用試験（2次）

教員採用試験の1次試験を通過した学生の皆さんは、大学の夏休み期間に2次試験を受験しました。今回は、教員採用試験の2次試験を受験した学生から、話を聞いてみました。

## 大塚春香（群馬県・中学理科）

群馬県の中学の2次試験は①小論文・適正検査、②個人面接・集団討論、③体育実技の3日間にわたる。特に力を入れて対策したのは②である。

②の個人面接はⅠとⅡに分かれていて、Ⅰでは主に自己PRの内容から聞かれる。自分のことなのでスムーズに答えやすい。Ⅱでは模擬授業が

約8分間あり、その後、教育に関する面接があった。集団討論は集団面接に近く、深まった討論はできなかったが、他の人の意見をしっかりと聞き、はっきりと自分の意見を言うことが大切である。そして②で最も重要だと思うことは【笑顔】である。私はこれが一番の苦手であった。面接になると緊張と真剣に取り組むあまり、笑顔を忘れてしまうのである。少し大きな笑顔になってもらいたいと思う。(特に女性は)

③では水泳・バスケット・鉄棒・マットがある。群馬県の中学を受ける場合、必ずやらなければならない。昔出来ていたからといって、今できるとは限らないので、練習をする必要がある。

2次試験は直前に少しやったからといって身につくものではない。少しずつ準備する必要がある。人前で話をする事が苦手な人は、1年前でも遅いくらいである。そして、教員採用試験で最も大切なことは、仲間と共に勉強や練習をして支え合うことである。同じ目標を持つ仲間と高め合うことで、採用試験を乗り切れるのだと感じた。

福永翔也(神奈川県・中学数学)

教員採用試験の2次試験は模擬授業、集団討論、個人面接といった順番で行われた。

模擬授業と集団討論のテーマは「生徒の発達段階を考慮し、学ぶねらいを明確にした展開や指導方法の工夫・改善が効果的に生かされた授業」という事で行われた。テーマは難しい内容ではしたが、このテーマと絡められているようにしておけば大丈夫だ。

個人面接は、圧迫面接ではなく、温和な雰囲気で行われた。内容については難しい質問は少なく、基本的な内容の質問が主だった。質問された内容の例として、「神奈川県を受けた理由はなんですか」「教員の不祥事は何があるか知っていますか」「生徒になぜ勉強をしなくてはいけないのかと質問されたらどのように答えますか」などでした。対策はしていましたが、答えにくい質問もいくつかあったので、そうした質問に対してどのように受け答えればよいか、しっかり考えておく必要があります。特に神奈川県の個人面接の配点は高いですから・・・

☆☆☆☆☆☆

どうでしたか？神奈川大学の中でも受験者が多い関東地方から感想を集めてみました。何か参考になるものはありましたか？

さて、ここでVol.4のテーマを発表します。

Vol.5のテーマ：先輩教師からの熱いメッセージ

10月22日に行われる平塚祭で、この湘南ひらつかキャンパスから教職の道へ進んだ先輩方の講演会が行われます。「教職論」の履修者だけでなく、たくさんの学生の皆さんに、先輩の経験談を聞いて欲しいと思っています。

しかし、平塚祭の間で行われるとあって、実行委員などで時間が取れず、行けない学生もいるかと思いますが、Vol.5では、講演会の概要、どんなメッセージを先輩方が送ったのか、紹介していきます。



10月の予定

■学校ボランティア開始(12日～)

■平塚祭(22日・23日)

22日：講演会「集まれ、教師の卵たち！2011 一先輩教師からの熱いメッセージ」6-302 14:30～16:40

■講演会「教員に求められる心がけと具体的な配慮」6-306 11:00～12:30

ちょっとブレイク

★教職教養問題にチャレンジしてみよう！

次の1～3の条文の出典をA群から、( )に入る通話をB群から選びなさい。

1. 小学校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
2. 公立の学校(大学を除く)の学期及び夏季、冬季、学年末、農繁期等における休業日は、市町村又は都道府県の設置する学校にあつては当該( )が、公立大学法人の設置する高等専門学校にあつては当該公立大学法人の理事長が定める。
3. 授業終始の時刻は、( )が定める。

<A群>

ア 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

イ 学校教育法施行規則 ウ 学校教育法施行令

エ 学校教育法 オ 小学校設置基準

<B群>

ア 市町村又は都道府県の教育委員会 イ 知事

ウ 校長 エ 市町村又は都道府県

答えは「Dreams Vol.5」で。



編集後記

いかがでしたか？

今回から新しく「おたよりボックス」のコーナーを追加させて頂きました。今までのコーナーと並行して、これからやっていきたいと思ひます。

8月に、小野先輩と実際にお会いして、お話をさせて頂きました。その時には、学級通信のことだけではなく、実際に中学生を相手にしていくにはどうしたらいいか、わかりやすい、面白い授業にするにはどうしたらいいか、など、貴重なお話を聞かせて頂きました。これらのことについてぜひ紹介したかったのですが…それを語るには、紙の大きさが足りませんでした(笑)

それでは、ここまで読んで頂き、ありがとうございます！

編集・カット担当 刈部真里(理・情報科学科4年)

Special Thanks!(お世話になった方々)

小野忍先輩…「おたよりボックス」メッセージの提供

大塚春香さん 福永翔也君 …「Dreams 談話室」感想の提供

「Dreams」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子

連絡先

神奈川大学

湘南ひらつかキャンパス 資格教育課程支援室

電話：0463-59-4111

FAX：0463-59-5736

E-mail: kyoushoku-shc@kanagawa-u.ac.jp

## 資料3 湘南ひらつかキャンパス教職課程通信「Dreams」VOL.5



©Misato K

湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

## Dreams Vol.5

2011年12月19日発行

©Misato K



## ☆☆ごあいさつ☆☆

こんにちは。すっかり寒くなりました。暖房器具が欲しくなる時期になりましたが、節電、ということもあるので、今年は寒い冬になりそうですね。私はまだ、家では暖房器具に頼らず生活しています。

Vol.5では、10月の学園祭に行われた講演会の内容の紹介、そして、おたよりボックスでは、今後大きく展開していくサークルについての紹介をしていきたいと思います。

## Enjoy School Volunteer

「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。

10月3週から、平塚市立みずほ小学校、土屋小学校、土沢中学校の3校でボランティアが開始されました。主な活動内容として、小学校では学級での学習活動の補助や、先生方、校務さんの作業の補助などを行いました。また、昼食は子ども達と一緒に給食を食べ、お昼休みになると一緒に遊んだりもしています。前期に比べて、全体のボランティア参加者は少なくなりましたが、楽しくボランティア活動に参加しています。

また、土沢中学校では、英語、理科の授業の補助と、ホームページ作成と維持の補助を行いました。実際に自分が動めるかもしれない、中学校で、生徒の様子を見たり、実際の授業を見て参考にさせてもらえたりと、小学校とはまた違う面で、勉強になったかと思います。

2月、3月の春休み期間も、学校ボランティアを募集しています。冬休みを終えて1月に説明会がありますので、今まで学校ボランティアに参加していて続けたいと思っている学生の方、また、学生の話を知りたい、この「Dreams」を読んでボランティアに興味を示した方など、沢山の学生ボランティアを募集していますので、是非参加して下さい。

それでは、後期学校ボランティア参加者の皆さん、お疲れ様でした。



©Misato K

## おたよりボックス

新コーナー「おたよりボックス」です。

このコーナーでは、神大を卒業して教師をしている先輩達からこそ聞ける話を紹介したり、皆さんが教員となる上で知って欲しいと思ったことなど、頼りになる便りを紹介していきます。

さて、今回は、後期からサークルとして活動する「ひらつか教師塾 —STEP—」についての紹介をします。

「ひらつか教師塾 —STEP—」は、教師を目指している学生の交流、情報交換、そして勉強の場を提供できるようなサークルとして、現在4年生の杉山一気君を中心に11月末から活動しています。

主な活動内容としては、メンバーが集まっての勉強会、また、教職課程で悩んでいることを先輩達に聞く相談会があり、金曜日の4限～放課後にかけて行います。これによって、教職履修者の縦、横の繋がりが深まることや、各自のモチベーションを上げることを目的としています。

まだ始動したばかりのサークルで、一番上に立つ4年生も手探りな部分が多いですが、今後も続いていけるサークルを目指していますので、

教職履修者はどんどん参加して下さいと嬉しです。

「ひらつか教師塾 —STEP—」への参加は、基本的には2年生以上を対象とし、連絡用のメーリングリストへの登録制です。登録してくれる学生は

E-mail: 43038914@ra9.jp

まで空メールを送り、登録して下さい。

また、サークルに入ろうか迷っている人、聞きたいことがある人は、杉山君 (E-mail: sugi.sugi.osugi.o-kisugi@ezweb.ne.jp) までメールでお問い合わせください。個人のアドレスですので、質問の際は、名前や、どういう用件でメールをしたのか、しっかりと明記して送信して下さい。

私も、この「ひらつか教師塾 —STEP—」のメンバーの一員として活動します。たくさんの教職履修者の学生と交流が持てるのを楽しみにしているの、ぜひ登録して下さい。



## Dreams 談話室

「Dreams 談話室」では、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所を提供していく予定です。「教育実習や教員採用試験について知りたい!」や「先輩、後輩、先生に伝えたい事がある」など、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に毎月、企画を立てて、学生の声を紹介していきます。

## テーマ 先輩教師からの熱いメッセージ

10月22日に行われた学園祭で、この湘南ひらつかキャンパスから教職の道へ進んだ先輩方の講演会が行われました。当日はたくさんの学生の皆さんが、先輩の経験談を聴きにきてくれました。

しかし、学園祭の間で行われたとあって、実行委員などで時間が取れず、行けない学生もいたと思います。そこで今回は、講演で先輩がどんなメッセージを送ってくれたのか、内容について紹介していきます。

☆☆☆☆☆☆

## ★森脇陽介先生

神奈川県立逗葉高等学校 (2008年度理学科情報科学科卒業)

「大学で学んだこと、今、学んでいること」

公立高校の教師の仕事に学生にわかりやすくするため、大学時代と現在の自分を比較して、後輩へ学生時代の今、教師を目指す友人との繋がりをしっかりと持っておく事の重要性や、支援室の利用する大切さについてお話ししてくれました。

副担任や担任の仕事についてや、生徒への評価、そしてその評価を保護者へ説明しなければならない責任など、学生の視点では知ることのないこともお話ししており、大学生のうちに評価について検討をしてみるといいのではないか、というアドバイスもしてくれました。



★山本圭悟先生

箱根町立箱根中学校 (2004年度理学部化学科卒業)  
「教師としての7年間」

授業で勝負できる教師になることの重要性に注目し、自分が担当する理科の授業で、授業を展開していく上での流れの大切さや、生徒が苦手としている考察について考えさせることを大事にしているということをお話してくれました。実験の際の考察について、良く書けている生徒の考察は、友達の考察例として配布するという具体例を出しており、理科教員を目指している学生にとっては、とても参考になったと思います。

他に、就職してから教師を目指すのは厳しいので、非常勤講師から目指していくといったなど、専任教員になるまでの歩み方について、アドバイスを下さいました。

★山口竜也先生

向上高等学校 (2005年度理学部生物科学専攻修了)  
「急いでクラスをもつことの危うさ」

教師の仕事内容をクラス経営、授業、部活、校務分掌 (授業外の仕事)、生徒募集と分けた図で、山口先生の一週間のスケジュールを図示し、何曜日のいつ、どの仕事をしているのか具体的に出し、私立高校の教員の特色と仕事の内容をわかりやすくお話してくれました。特に、生徒募集で県内の中学校に行く話などは、公立高校ではあまりないと思うので、参考になりました。

★木下慧先生

神奈川大学付属中・高等学校 (2006年度経営学部国際経営学科卒業)  
『芯』と『真』を持った教員として」

生徒指導に着目して私立学校の教員の仕事をお話してくれました。生徒指導をする中で、指導の「芯」をずらしてはいけない、ということをお話してくれたとともに、ずれないためには、教師像、生徒像、授業観をしっかりとし持ち、「気持ちいい人間」であることの大切さを伝えてくれました。

☆☆☆☆☆☆

いかがでしたか？ 学園祭は何かと忙しいので、この講演会に参加出来なかった学生の皆さんに、少しでも先輩たちの熱いメッセージが届けばいいな、と思います。

こうして、学生が教師の仕事というものに触れ合える機会というのは滅多にないもので、今後も講演会が続いて行くことを願っています。また、その際は、沢山の学生が聴きにきてくれると嬉しいです。

ここで、今回のテーマを発表します。

Vol.6のテーマ：私の理想の教師像

皆さんは、教職を履修したからにはきっと、目指す教師像があるといます。今までの「Dreams」では、教育実習の感想や、教員採用試験の感想で、高学年を中心にテーマが定まっていたと思います。

なので今回は、1・2年生の学生に目を向けて、どんな理想の教師像を持っているのか、聞いてみたいと思います。



©Misato K

11月・12月の予定

■神大付属授業参観 (教職論履修者) …11月14～18日

■小学校教員養成特別プログラム 第1次選考結果発表…11月25日

■教員採用試験模擬試験…12月2日 (・3日)

■小学校教員養成特別プログラム 第2次選考 (面接) …12月3日

■小学校教員養成特別プログラム 学内選考結果発表…12月9日

■冬休み開始…12月22日～

ちょっとブレイク

★一般教養問題にチャレンジしてみよう！

1. 次の漢字の読みを答えよ。

① 渋る・滞る・渋滞 ② 指す・摘む・指摘

2. 次の熟語の読み方は、A訓読み B音読み C湯桶読み D重箱読み のどれにあたるか。記号で答えよ。

① 均整 ② 新芽 ③ 一昔 ④ 手本  
⑤ 客足 ⑥ 役務 ⑦ 夜道 ⑧ 砂地

3. 次の熟語の読みを答えよ。

① 時雨 ② 寄席 ③ 山車 ④ 名残

答えは「Dreams Vol.6」で。

Vol.4の解答…1. イ 2. ウ 3. イ

① ア ② ウ



編集後記

いかがでしたか？

10月22日の講演を聞かせて頂きました。授業について、生徒指導について、など、色々なテーマがあり、とても興味深く聞けました。また、先輩が職場でどれだけ一生懸命頑張っているか、というメッセージの中から、感じ取ることができて、教師という仕事の大変さに触れた気がします。

また、今年から、「ひらつか教師塾 —STEP—」も始まり、この湘南ひらつかキャンパスで教職を履修している学生の、縦・横の結び付きが強くなる足がかりが出来ました。今後とも活動が続いて、縦・横の繋がりが強く、お互いのモチベーションを上げることが出来る良いサークルになることを願っています。

それでは、ここまで読んで頂き、ありがとうございました！

編集・カット担当 刈部真里 (理・情報科学科4年)

Special Thanks! (お世話になった方々)

「Dreams」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子

連絡先  
神奈川大学  
湘南ひらつかキャンパス 資格教育課程支援室  
電話：0463-59-4111  
FAX：0463-59-5736  
E-mail: kyoushoku-shc@kanagawa-u.ac.jp